



通町商店街で行われた昼竿燈。人が集うと、まちはこんなにいきいき...

商店街が取り組む賑わいづくりを支援するなど、活力あるまちをめざします。働く場を確保し、あらゆる世代が豊かに暮らせる秋田が目標です。

企業の設備投資などに 利用しやすい融資制度

●商店街のみなさんが自分たちで取り組む賑わいづくり事業を支援します。空き店舗などを活用して地域の人が交流できる施設をつくったり、その施設を使って各種サークル活動や研修会を運営したりする費用を、五百万円を限度に市が負担します。

●新たに事業を始めるかたや新分野に進出する企業を、各産業支援機関と連携しながら、技術開発から販路開拓まで総合的に応援していきます。

●中小企業の積極的な経営活動を金融面から支援するため、工場の設備投資に対する融資限度額を大幅に拡大したほか、市工業団地の用地取得に対する貸付利率の一部を市が補う制度を新たに設けました。また、市独自の低利で長期的に利用できる融資あつせん制度も引き続き行います。

高校生を対象に職場体験

●若者の就業意欲向上のため、高校生を対象に、就職前に職場体験ができるインターンシップ事業をすすめます。また、秋田テルサで、求人情報の提供や就業のためのパソコン教室を実施します。

多様な媒体を活用し

秋田の魅力をもっとPRします

●秋田の魅力を凝縮した観光PR用

秋田市の 財政状況を 見てみる。

自治体の財政力の強さを示す

財政力指数

1に近いか超えるほど余裕

自治体の財政力の強さを計る物差しがこの「財政力指数」。
これは、市税などによる市の標準的な収入で、合理的、平均的な行政運営を行った場合に、必要経費のどこまでを自前で賄えるかを計るものです。

この数値が高いほど財源に余裕があることを意味しています。数値が1であることは必要経費をすべて自前で賄えるということになります。

平成十一年度決算の秋田市の財政力指数は0.683。
税収などの減少で、前年までに比べ小さくなりました。

第二章 豊かで夢と希望を 持って生きる活力あるまち 商店街の賑わい 事業を支援します